

日本獣医内科学アカデミー／日本獣医臨床病理学会／日本獣医皮膚科学会 2011年大会
参加者、共催団体、講演者、および協賛企業の皆様

－ 開催継続の経緯に関して －

東北地方太平洋沖地震におきまして、被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、犠牲になられた方々とご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。被害にあわれた地域のみならず、一日も早く復旧をされますよう、お祈り申し上げます。

本年度の上記大会の開催継続の経緯に関して、実行委員会からご説明させていただきます。

3月11日(金)午後、本大会のセッションが開始された約2時間後に地震が発生したため、その直後から開催を続けるかどうかについて協議しました。会場であるパシフィコ横浜の担当者から建物と施設の安全性に関する情報を、また各種報道から交通情報を得ながら、開催中の各時点で判断するように致しました。11日の時点においては、地震直後の安全確認作業が必要であったため、当日午後3時以降のセッションをすべて中止しました。その後、本大会の開催に関する情報をできる限り早く参加者と出展企業の皆様にお知らせするため、会場の安全使用を確認したのち、午後6時の時点で開催の継続を仮決定して大会ホームページ上で告知しました。パシフィコ横浜は周辺住民の方々の避難場所にも設定されており、比較的安全性の高い場所であると考えられたことも開催継続の判断材料の一つとなりました。12日および13日の開催中には、横浜地域で会場使用に支障をきたすような変化は認められず、13日の予定終了時刻(午後6時30分)まで開催を続行することとしました。

本大会は、主催3団体が49の共催団体のご支援を受けながら、1年間かけてその準備を進めてきたものです。臨床獣医学の発展のためにご準備いただいた内容のご発表の場を提供することが実行委員会の役目であり、会場の安全性が確保されているかぎり、本大会を開催することが私どもの仕事であると考えました。また、12日の朝からは不十分ながら交通機関が徐々に回復しつつありました。小規模な大会であればキャンセルして後日開催することも可能ですが、このような大規模な大会を新たに設定することは不可能であったことをご理解いただければと存じます。

このような状況下においても、多くの共催団体の関係者および講演者の方々のご協力により、12日および13日には当初予定していたセッション枠の約9割でご講演いただくことができました。学会参加者数は例年よりも大幅に少なくなりましたが、合計1459名の方においていただきました。交通手段に問題のある中、多くの方々が会場に来ていただいたことに対し、心から感謝致しております。

私ども実行委員会が緊急時対策に不慣れであったため、参加を予定しておられた多くの方々にご迷惑をおかけしたものと思います。また、協賛企業の方々にも大変なご苦勞をおかけしました。大会運営に関して十分な対応ができなかった点が多々あったことをお詫びします。上記のような開催続行の経緯をご理解いただければ幸いに存じます。私どもは臨床獣医学を担当する立場から日本の再興に寄与する所存です。今後ともご厚誼賜りますようお願い申し上げます。

なお、本実行委員会は今回の震災に対する義援金を寄附することと致しましたので申し添えます。

2011年3月17日

日本獣医内科学アカデミー／日本獣医臨床病理学会／日本獣医皮膚科学会 2011年大会
実行委員会